

6-1 1/5時の指導計画

(1) 目標

目的に応じて図表を効果的に使って書こうとする。

(2) 展開

* 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 指導者の自己紹介を聞き、図表を見合わせながら聞く場合と、文章だけのものを読みながら聞く場合との違いを実感する。	指導者の作品モデル	◆まず、電子黒板を用いて図表を提示しながら自己紹介をする。次に、文章だけを示して同じ内容の自己紹介をし、図表を使うことで内容が分かりやすく印象的なものになることを実感させる。	
	2 教科書の「図表を使って伝えよう」を読み、単元の目標を確かめる。	学習計画表		
	3 本時の目標を確かめる。		○齊読によって確認させる。	
目的に応じて図表を効果的に使おう。				
展開	4 教科書の「はじめの一歩！」にある(1)「ある中学校のバスケットボール部の部長が、新入生向けに書いた文章」を読み、この文章に合わせる図表(2)を作成する。	ワークシート①	○文章だけでは分かりにくい情報を、表にまとめて分かりやすくする作業であることを意識させる。 ◆教材提示装置を用いて生徒が作成した(2)の表を映し出し、作成した図表が正しいかどうかを確かめさせる。また、分かりやすい情報となったことを実感させる。	◇(2)の表の作成に時間の掛かっている生徒には、(1)の文章に(2)の表に書き込む言葉をマーキングさせ、矢印でつなげるなどして何をどこに書くかを確かめて書かせる。
	5 (2)の表の他に、図表にどのような形式のものがあるか話し合う。 〔手順〕 1) 既習事項を生かして思いつく図表を発表する。		○社会科や数学科、理科などの学習内容を想起させる。	

展開	<p>2) ワークシート②で図表の特徴を確かめる。</p> <p>3) どのような場合にどの図表が用いられるのかを確かめる。</p> <p>6 教科書の【練習】に取り組み、時間の経過に従って数値の変化する様子を知りたいときには折れ線グラフや棒グラフが適切であることを確かめる。</p> <p>7 いくつかの場面についてどの形式の図表を使うのがよいかを答える練習問題に取り組み、答えを確かめる。 《ワークシート②の練習問題に取り上げた場面》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① クラスごとの図書の本の貸し出し冊数を比較したいとき ② 貸し出し冊数の多い図書の順位を知りたいとき ③ ある年の日本の輸出品目の割合を知りたいとき ④ テストの成績の変化を知りたいとき ⑤ 人物の性格をいくつかの観点から分析するとき ⑥ 人口の年代構成の割合の違いを知りたいとき <p>8 学習課題「文章に図表を組み合わせて、「『私』の説明文」を読みやすくて印象的なものに仕上げよう」を設定する。</p>	<p>ワークシート②</p> <p>ワークシート①</p> <p>ワークシート②</p> <p></p>	<p>○情報の内容や書き手の目的に応じて図表やグラフが使い分けられていることを理解させる。</p> <p>◆答えを確かめさせる際には、電子黒板でエクセルシートを用いて生徒の解答したグラフを作成して見せ、どのグラフが適切か確かめさせる。</p> <p>○どういう場合にどういう形式の図表を使えばよいか、判断の理由を説明させて答えを出し合わせる。</p> <p>○言語活動を通して身に付く力を予想させ、「単元で身に付けたい力」に書き込ませる。</p>	<p>◇グラフを書くのに手間取っている生徒には、縦軸と横軸に何を取って書くのかを確かめさせて一緒に作成する。</p> <p>【関①】 図表を用いた説明の効果などを考え、読みやすくて印象的な文章を書こうとしている。 【ワークシート①】 【ワークシート②】 【観察】</p> <p>練習問題に取り組み、答えを確かめることを通して、図表の特徴をつかみ、目的に応じた図表を選ぼうとしている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>グループで分からぬことを質問したり、説明したりさせて、目的に応じた図表について理解させる。</p>
まとめ	<p>9 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考え振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</p> <p>○次時は、自分についての材料を集めることを確認する。</p>	